

授 業 科 目 名	社会調査設計				
担 当 教 員	近藤 史				
学 期	前期	曜日・時限	月曜9・10限	単 位	2 単 位
地域志向科目	該当 しない				
【授業としての具体的到達目標】					
社会調査の方法を学び、私たちの社会を見抜く基本的な技術を身につけます。					
【授業の概要】 私たちの社会は多様で複雑です。これを理解するには、実際にフィールド（現場）に出て、人びととの関わりのなかで学ぶことが大切です。社会調査は、社会で起こっている様々な現象を明らかにするために、人と出会い、データを収集し、これを分析してまとめる方法です。本授業では社会調査の設計の仕方について体系的に学びます。					
【授業内容予定】					
(1) 社会調査について知る					
①私たちの暮らしと社会調査					
②社会調査のプロセスとデザイン					
(2) 情報を集める・先行研究を探す					
③雑誌記事・論文、図書など					
④新聞記事、統計データ、行政資料など					
⑤まとめ					
(3) 質的社会調査（フィールドワーク）の手法					
⑥フィールドワークはなぜ必要か					
⑦誰に聞くか、どう頼むか					
⑧記録術、聞いた話は「正しい」のか					
⑨インタビューだけではない、立体的なフィールドワーク					
⑩まとめ					
(4) 調査データをまとめる					
⑪データ整理、キーワードをみつける					
⑫KJ法による体系化					
⑬タイトルとアウトラインの作成					
⑭論文作成の作法					
⑮まとめ					
【教材・テキスト】					
宮内泰介『自分で調べる技術』岩波アクティブ文庫					
【参考文献】					
大谷信介ほか編『新・社会調査へのアプローチ』ミネルヴァ書房					
ウヴェ・フリック著『新版 質的研究入門』春秋社					
【成績評価の方法および採点基準】					
授業への参加とエクササイズの提出レポートによる					
【授業形式・形態および授業方法】					
講義と演習形式。教材に記されたエクササイズを実践してもらい、教員と討議します。					
【留意点・予備知識等】					
【オフィスアワー】					
初回授業でお知らせします					

